

2018年3月期 第1四半期 決算説明会



株式会社SUBARU

取締役専務執行役員CFO 岡田 稔明

2017年8月3日



## 2018年3月期 第1四半期 実績

- ▶ 連結販売台数は、第1四半期として過去最高を記録。
- ▶ 連結売上高は、自動車売上台数の増加および為替変動に伴う売り上げの増加などにより増収。
- ▶ 連結損益は、販売費を中心とした諸経費等および試験研究費の増加があったものの、販売台数の増加などにより増益。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	連結販売台数
実績 (対前年実績)	8,548億円 (+854億円)	1,193億円 (+178億円)	1,193億円 (+5億円)	823億円 (+35億円)	271.3千台 (+26.2千台)

## 2018年3月期 計画

- ▶ 通期連結業績計画は、2017年5月9日の発表内容から修正なし。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	連結販売台数
計画 (対前年実績)	3兆4,200億円 (+940億円)	4,100億円 (-8億円)	4,100億円 (+157億円)	2,850億円 (+26億円)	1,105.5千台 (+41.0千台)



## 2018年3月期 第1四半期 実績

## 第1四半期 実績 連結完成車販売台数



(千台)

	2017年3月期 1Q 実績	2018年3月期 1Q 実績	増減
登録車	24.5	33.3	+8.7
軽自動車	6.6	7.2	+0.6
<b>国内合計</b>	<b>31.2</b>	<b>40.5</b>	<b>+9.3</b>
米国	155.0	174.0	+18.9
カナダ	15.4	15.5	+0.1
ロシア	1.9	1.8	-0.1
欧州	8.7	8.3	-0.3
豪州	12.0	14.1	+2.1
中国	9.5	8.0	-1.5
その他	11.4	9.2	-2.2
<b>海外合計</b>	<b>214.0</b>	<b>230.9</b>	<b>+16.9</b>
<b>合計</b>	<b>245.2</b>	<b>271.3</b>	<b>+26.2</b>

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

※ 中国 2017年3月期：暦年決算1～3月、2018年3月期：年度決算4～6月

3

2018年3月期 第1四半期の連結販売台数は、前年同期比2万6千2百台の増となる、27万1千3百台となり、第1四半期として過去最高を記録しました。

国内の登録車については、新型インプレッサおよび新型SUBARU XVの販売がそれぞれ好調に推移したことにより、前年同期比8千7百台増となる、3万3千3百台となりました。また、軽自動車については、前年同期比6百台増となる、7千2百台となりました。その結果、国内全体では前年同期比9千3百台増となる、4万5百台となりました。

海外では、当社の重点市場である北米を中心に新型インプレッサ とフォレスターの販売が好調に推移したことにより、前年同期比1万6千9百台増となる23万9百台となりました。

## 第1四半期 実績 連結業績



(億円)

	2017年3月期 1Q 実績	2018年3月期 1Q 実績	増減
売上高	7,694	8,548	+854
国内	1,303	1,605	+302
海外	6,391	6,943	+552
営業利益	1,015	1,193	+178
営業外損益	+173	-1	-173
経常利益	1,188	1,193	+5
特別損益	-10	-11	-1
税前利益	1,178	1,182	+4
親会社株主に帰属する 当期純利益	789	823	+35
単独為替レート	¥111/US\$	¥112/US\$	+¥1/US\$

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

4

次に、連結業績です。

売上高は6期連続の増収、第1四半期として過去最高を記録しました。

営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は増益となりました。

売上高は、為替レート差+105億円、売上台数増加による売上構成差の改善+774億円、航空カンパニー等での-25億円により、前年同期比 854億円の増収となる、8,548億円となりました。

営業利益は、米国の金利上昇に伴う販売費を中心とした諸経費等および試験研究費の増加があったものの、販売台数の増加などにより、178億円の増益となる、1,193億円となりました。

経常利益は5億円の増益で、1,193億円、

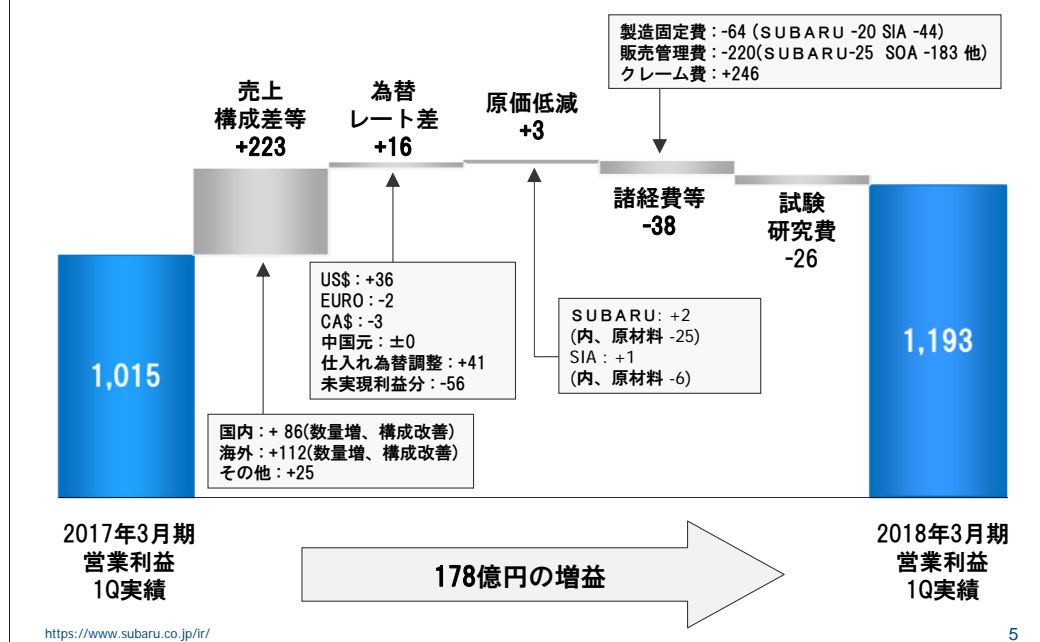
税前利益は4億円の増益で、1,182億円、

親会社株主に帰属する当期純利益は35億円増益の、823億円となりました。

## 第1四半期 実績 営業利益増減要因



(億円)



5

続きまして、前期実績1,015億円から今期実績1,193億円へと、178億円の増益となった、営業利益増減要因です。増益要因は、

<1>売上構成差等で+223億円で、内訳は次の3つに分かれます。1つ目は、国内の新車で+86億円です。

新型インプレッサおよび新型SUBARU XVの販売が好調で、数量・構成ともにプラスとなりました。

2つ目は、海外の新車で+112億円です。

米国市場を中心に新型インプレッサやフォレスターの販売が好調に推移しプラスとなりました。

3つ目は、在庫調整等その他で+25億円です。

<2>次に、為替レート差で+16億円です。ドルは約1円の円安で+36億円です。

ユーロは約2円の円高で-2億円、カナダドルは約2円の円高で-3億円です。

中国元で±0億円、SUBARUと海外子会社の仕入れ為替調整で+41億円、未実現利益分で-56億円となりました。

<3>次に、原価低減で+3億円です。そのうち、SUBARUが+2億円、SIAは+1億円です。

SUBARUでは原価低減が+27億円、原材料・市況等については-25億円となりました。

SIAでは原価低減が+7億円、原材料等は-6億円となりました。

一方、減益要因は、

<4>諸経費等の増で-38億円で、内訳は次の3つに分かれます。

1つ目は、製造固定費の増加により-64億円です。そのうち、SUBARUが-20億円、SIAは-44億円です。

SUBARUでは、外製型費の増により-13億円、固定加工費の増で-7億円です。

SIAでは、外製型費の増により-18億円、固定加工費の増加により-26億円となりました。

2つ目は、販売管理費の増加で-220億円です。

SUBARUでは、広告宣伝費等の増加により-25億円となりました。

国内ディーラーは-13億円、SOAは-183億円、カナダ子会社は+1億円となりました。

SOAにつきましては、広告宣伝費等の増加により-27億円。インセンティブは、台当たり前年実績\$1,050に対し、\$1,800と\$750増加したことに加え、台数も増加したことにより-156億円となりました。

3つ目は、クレーム費の減で+246億円です。

<5>最後に、試験研究費の増加で-26億円です。

以上で、2018年3月期 第1四半期の連結営業利益は、178億円の増益となる、1,193億円となりました。

## 連結貸借対照表



(億円)

	2017年3月末	2017年6月末	増減
<b>総資産</b>	<b>27,623</b>	<b>27,812</b>	<b>+189</b>
流動資産	18,453	18,395	-58
固定資産	9,171	9,417	+247
<b>負債合計</b>	<b>12,974</b>	<b>12,857</b>	<b>-118</b>
有利子負債	1,483	1,107	-375
<b>純資産合計</b>	<b>14,649</b>	<b>14,955</b>	<b>+306</b>
利益剰余金	11,733	12,009	+276
自己資本	14,587	14,887	+301
自己資本比率	52.8%	53.5%	+0.7
D/Eレシオ	0.10	0.07	-0.03

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

6

続きまして、バランスシートです。

当第1四半期末の総資産は、前期末に比べ189億円増加の2兆7,812億となりました。

主な要因は、現金及び預金と有価証券を合わせた手許資金の増加185億円、受取手形及び売掛金の減少194億円、有形固定資産の増加155億円等です。

負債につきましては、前期末に比べ118億円減少の1兆2,857億円となりました。

主な要因は、支払手形及び仕入債務の減少249億円、1年以内返済予定を含めた長期借入金の減少384億円、未払い法人税等の増加194億円、賞与引当金の増加120億円等です。

なお有利子負債は375億円の減少となる1,107億円であります。

純資産につきましては前期末に比べ306億円の増加となる1兆4,955億円となりました。

## 第1四半期 実績 連結キャッシュフロー



(億円)

	2017年3月期 1Q 実績	2018年3月期 1Q 実績	増減
営業活動CF	621	1,411	+790
投資活動CF	-647	-384	+263
フリーCF	-26	1,027	+1,053
財務活動CF	-610	-884	-274
換算差額	-198	6	+205
現金及び現金同等物の増減	-834	149	+983
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	-	-5	-5
在外子会社の決算日変更による現金 及び現金同等物の期末残高増減額	-	37	37
<b>現金及び現金同等物 合計</b>	<b>7,460</b>	<b>7,467</b>	<b>+6</b>

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

7

次に連結キャッシュフローです。

営業活動によるキャッシュフローは、  
税前純利益1,182億円の計上、仕入債務の減少243億円、  
法人税等の支払152億円(昨年度1,042億円)などから、  
1,411億円のキャッシュインとなりました。

投資活動によるキャッシュフローは、  
固定資産の取得による支出(売却による収入との純額) 335億円などがあり、384億円のキャッシュ  
アウトとなりました。

フリーキャッシュフローは、1,027億円です。

財務活動によるキャッシュフローは  
長期借入金の返済による支出(借り入れによる収入との純額) 384億円、配当金の支払い540億円  
などにより、884億円のキャッシュアウトとなりました。

また、現金及び現金同等物は7,467億円となりました。



## 第1四半期実績 海外子会社業績



(Million US\$)

SOA	2017年3月期 1Q 実績	2018年3月期 1Q 実績	増減
売上高	4,079	4,726	+647
営業利益	219	139	-80
当期純利益	135	88	-47
小売販売台数(千台)	146.7	160.0	+13.3

SIA	2017年3月期 1Q 実績	2018年3月期 1Q 実績	増減
売上高	1,496	2,163	+667
営業利益	28	77	+49
当期純利益	18	50	+32
SUBARU生産台数(千台)	65.1	99.3	+34.2

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

8

SOAの小売販売は、新型インプレッサおよびフォレスターの販売が好調に推移したことにより、対前年1万3千3百台増の16万台となりました。

売上高につきましても、\$647Mの増収となる\$4,726Mとなりました。

営業損益につきましては、数量・構成差+\$89M、販管費の増-\$169Mにより、\$80Mの減益となる、\$139Mとなりました。

SIAの売上高は、前年に対し+\$667Mの\$2,163Mとなりました。営業損益は、数量価格構成差+\$88M、原価低減活動+\$2M、固定費増-\$41Mにより、対前年+\$49Mとなる\$77Mとなりました。



## 2018年3月期 見通し

## 連結業績計画



(億円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 計画	増減
売上高	33,260	34,200	+940
営業利益	4,108	4,100	-8
経常利益	3,943	4,100	+157
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,824	2,850	+26
単独為替レート	¥108/US\$	¥110/US\$	+¥2/US\$
連結販売台数	1,064.5千台	1,105.5千台	+41.0千台
国内	158.9千台	172.1千台	+13.1千台
海外	905.6千台	933.4千台	+27.8千台

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

10

続きまして、2018年3月期の連結業績計画についてです。

連結販売台数、業績計画ともに、期初に発表した計画からの修正はありません。

## 設備投資・減価償却費・試験研究費・有利子負債



(億円)

	2017年3月期 1Q 実績	2017年3月期 通期実績 (a)	2018年3月期 1Q 実績	2018年3月期 通期計画 (b)	増減 (b) - (a)
設備投資	368	1,585	220	1,500	-85
減価償却費	159	770	202	920	+150
試験研究費	236	1,142	262	1,340	+198
有利子負債	1,654	1,483	1,107	1,000	-483

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

11

最後に、設備投資、減価償却費、試験研究費、有利子負債についてです。

第1四半期の実績は、設備投資220億円、減価償却費202億円、試験研究費262億円となりました。

通期計画につきましては、いずれも前回の発表値から変更はございません。

商品力強化や新技術に対応するための試験研究など、引き続き将来成長に向けた投資を継続してまいります。

次ページ以降は、セグメント情報や、各種指標等、ご参考となります。

以上で2018年3月期 第1四半期決算の説明を終わります。

ありがとうございました。

## ご参考 (1)

- ・ 連結営業外収支 / 特別損益
- ・ セグメント情報(事業別 / 所在地別)
- ・ 海外売上高
- ・ 単独販売台数
- ・ 通期業績計画
- ・ 第2四半期累計業績計画

## 第1四半期 実績 連結営業外収支 / 特別損益



(億円)

	2017年3月期 1Q 実績	2018年3月期 1Q 実績	増減
金融収支	6	11	+5
為替影響	+171	-8	-179
その他	-5	-4	+1
<b>営業外収支</b>	<b>+173</b>	<b>-1</b>	<b>-173</b>
固定資産売却益	0	1	+1
投資有価証券売却益	1	1	+0
固定資産除売却損	-10	-12	-2
その他	0	0	-0
<b>特別損益合計</b>	<b>-10</b>	<b>-11</b>	<b>-1</b>

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

13

## 第1四半期 実績 事業セグメント別業績



(億円)

	売上高			営業利益		
	2017年 3月期 1Q 実績	2018年 3月期 1Q 実績	増減	2017年 3月期 1Q 実績	2018年 3月期 1Q 実績	増減
自動車	7,245	8,122	+877	993	1,168	+175
航空宇宙	352	339	-13	17	18	+1
その他	97	86	-11	3	12	+9
消去・全社				2	-5	-7
合計	7,694	8,548	+854	1,015	1,193	+178

\* 2017年3月期第3四半期より報告セグメントの区分を変更、従来の「産業機器」は「その他」へ集約

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

14

## 第1四半期 実績 所在地別セグメント業績



(億円)

	売上高			営業利益		
	2017年 3月期 1Q 実績	2018年 3月期 1Q 実績	増減	2017年 3月期 1Q 実績	2018年 3月期 1Q 実績	増減
日本	2,217	2,414	+197	667	934	+267
北米	4,871	5,635	+764	240	233	-7
その他	606	498	-107	16	9	-7
消去・全社	/	/	/	93	18	-75
合計	7,694	8,548	+854	1,015	1,193	+178

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

15



## 第1四半期 実績 連結海外売上高



(億円)

	2017年3月期 1Q 実績	2018年3月期 1Q 実績	増減
北米	5,177	5,917	+740
欧州	269	254	-16
アジア	531	360	-171
その他	413	412	-1
合計	6,391	6,943	+552

## 第1四半期 実績 単独販売台数



(千台)

	2017年3月期 1Q 実績	2018年3月期 1Q 実績	増減
国内生産	179.4	176.3	-3.1
国内売上	32.8	44.5	+11.7
登録車	26.0	36.7	+10.6
軽自動車	6.8	7.8	+1.0
輸出台数	148.2	136.5	-11.8
海外生産用部品	75.2	89.3	+14.1
単独売上合計	256.3	270.3	+14.0

※ 国内生産台数にはトヨタ86を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

17

## 通期計画 連結完成車販売台数



(千台)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 計画	増減
登録車	126.4	134.2	+7.8
軽自動車	32.5	37.8	+5.3
<b>国内合計</b>	<b>158.9</b>	<b>172.1</b>	<b>+13.1</b>
米国	667.6	687.7	+20.1
カナダ	53.1	54.6	+1.5
ロシア	5.3	6.6	+1.3
欧州	40.9	39.2	-1.7
豪州	49.1	52.6	+3.5
中国	44.0	42.3	-1.7
その他	45.6	50.5	+4.9
<b>海外合計</b>	<b>905.6</b>	<b>933.4</b>	<b>+27.8</b>
<b>合計</b>	<b>1,064.5</b>	<b>1,105.5</b>	<b>+41.0</b>

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

※ 中国 2017年3月期：暦年決算1～12月、2018年3月期：年度決算4～翌3月

18

## 通期計画 連結業績



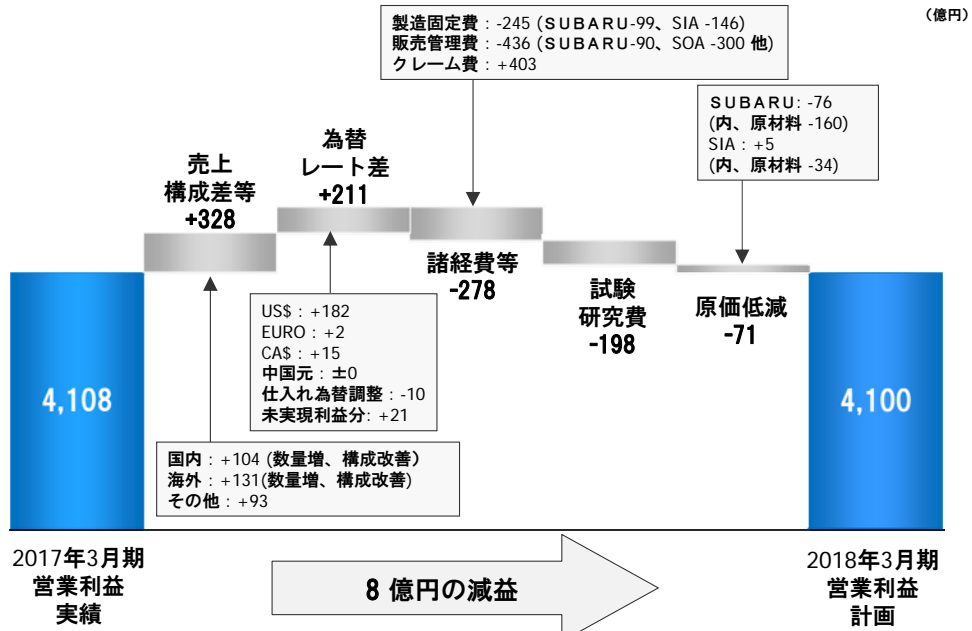
(億円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 計画	増減
売上高	33,260	34,200	+940
国内	6,503	6,680	+176
海外	26,756	27,520	+764
営業利益	4,108	4,100	-8
経常利益	3,943	4,100	+157
税前利益	3,947	4,030	+83
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,824	2,850	+26
単独為替レート	¥108/US\$	¥110/US\$	+¥2/US\$

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

19

# 通期計画 営業利益増減要因



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

## 第2四半期累計計画 連結完成車販売台数



(千台)

	2017年3月期 2Q累計 実績	2018年3月期 2Q累計 計画	増減
登録車	52.5	65.2	+12.7
軽自動車	15.6	17.4	+1.8
<b>国内合計</b>	<b>68.0</b>	<b>82.6</b>	<b>+14.5</b>
米国	326.9	335.0	+8.0
カナダ	28.4	30.1	+1.7
ロシア	3.7	3.7	-0.0
欧州	18.4	19.6	+1.1
豪州	22.4	27.3	+4.9
中国	21.8	21.9	+0.1
その他	22.3	22.2	-0.1
<b>海外合計</b>	<b>443.9</b>	<b>459.7</b>	<b>+15.8</b>
<b>合計</b>	<b>512.0</b>	<b>542.3</b>	<b>+30.3</b>

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

※ 中国 2017年3月期：暦年決算1～6月、2018年3月期：年度決算4～9月

21

## 第2四半期累計計画 連結業績



(億円)

	2017年3月期 2Q累計 実績	2018年3月期 2Q累計 計画	増減
売上高	15,777	16,890	+1,113
国内	2,860	3,286	+426
海外	12,916	13,604	+688
営業利益	2,085	2,100	+15
経常利益	2,278	2,100	-178
税前利益	2,356	2,070	-286
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,638	1,450	-188
単独為替レート	¥107/US\$	¥110/US\$	+¥3/US\$

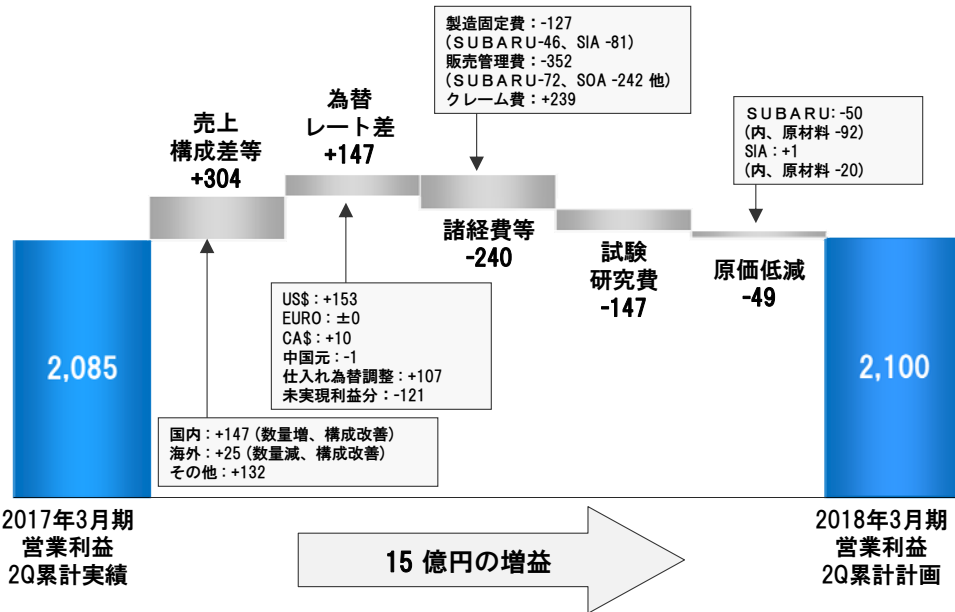
<https://www.subaru.co.jp/ir/>

22

## 第2四半期累計計画 営業利益増減要因



(億円)



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

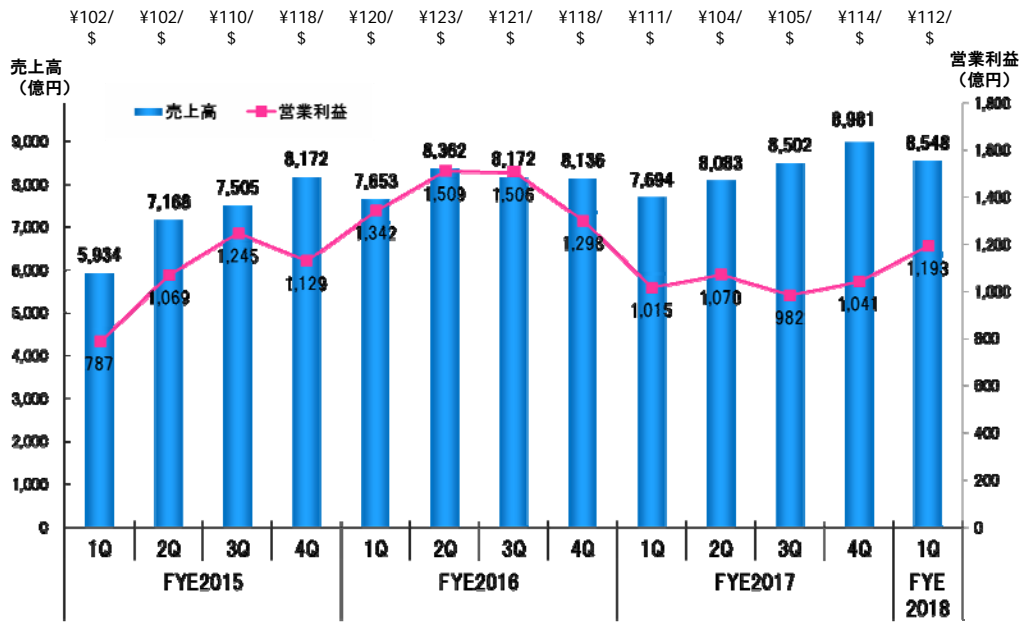
23



## ご参考 (2)

- 売上高 / 営業利益 推移
- 連結販売台数 / 営業利益率 推移
- 生産台数 / 小売台数 推移
- FCF / 自己資本比率 推移
- 有利子負債 / D/Eレシオ 推移
- 主な広報発表案件

# 売上高 / 営業利益 推移



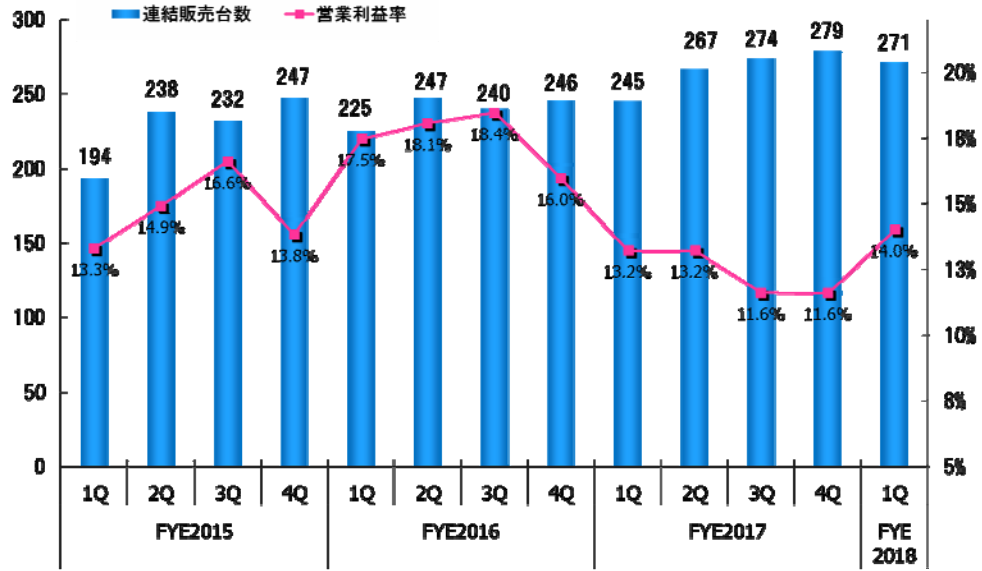
<https://www.subaru.co.jp/ir/>

# 連結販売台数 / 営業利益率 推移



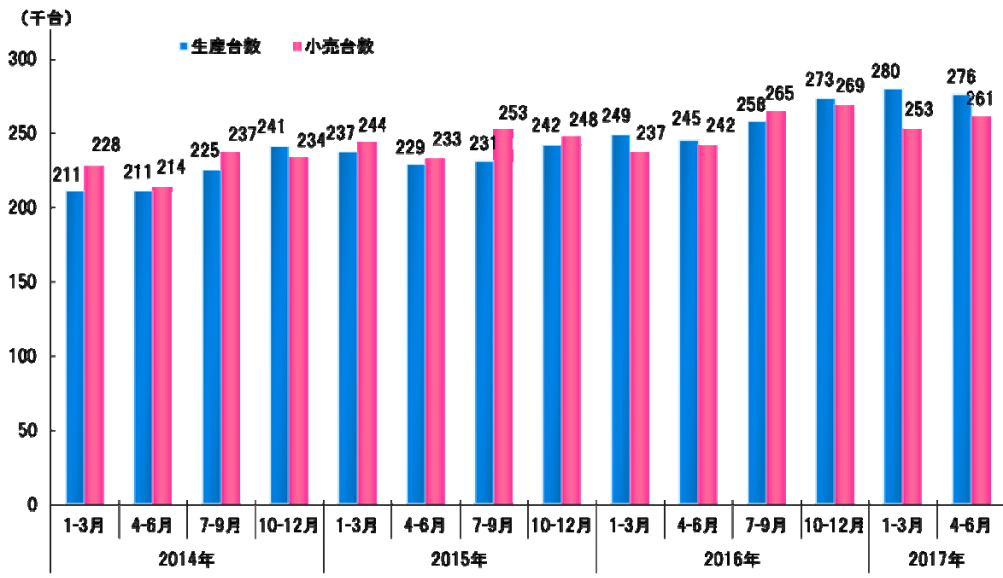
連結販売台数  
(千台)

営業利益率



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

# 生産台数 / 小売台数 推移

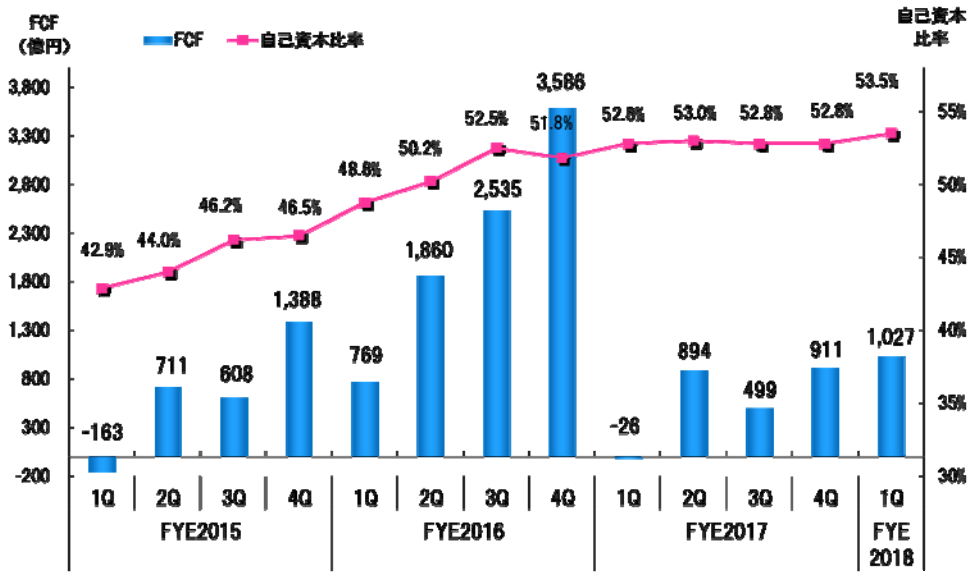


※ 生産台数にはトヨタ86を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

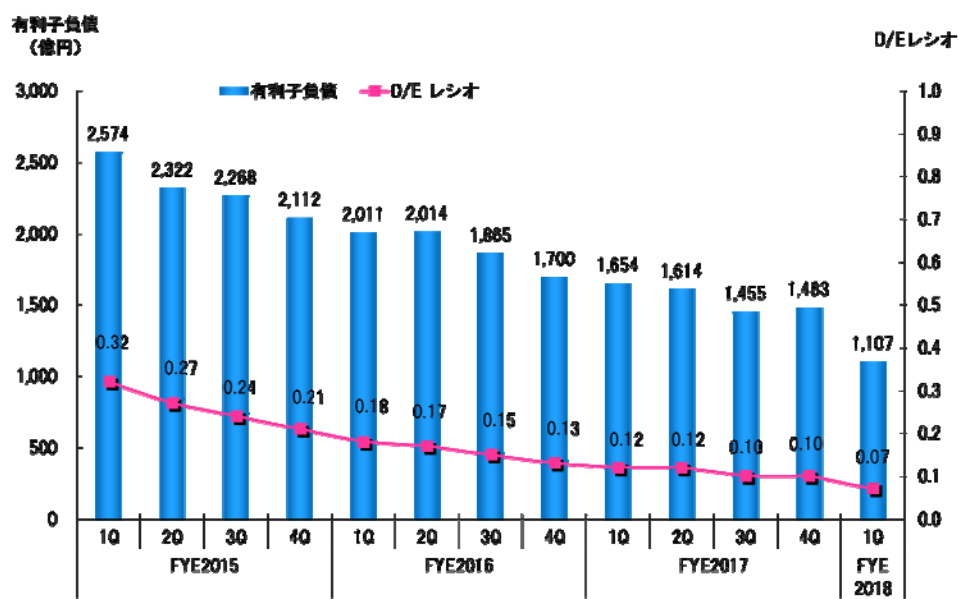
27

# FCF / 自己資本比率 推移



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

# 有利子負債 / D/Eレシオ 推移



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

## 第1四半期 主な広報発表案件



(発表日)

### 経営・財務

- 譲渡制限付株式報酬制度の導入に関するお知らせ(4/28)

### 商品関係

- 新型「SUBARU XV」を発表 ～2016年度自動車アセスメント「衝突安全性評価大賞」を受賞～(4/6)
- 2018年型「アウトバック」をニューヨーク国際自動車ショーに出展 (4/7)
- 北米市場専用新型3列SUVの名称を「ASCENT (アセント)」に決定 (4/12)
- インプレッサが米国Wards社の「10ベストインテリア」賞を受賞(4/19)
- 新型「プレオ プラス」を発売(5/9)
- 「WRX STI」大幅改良モデルを発表 (5/24)
- 新型「レヴォーグ」「WRX S4」を本年夏に発表  
～進化したアイサイトを搭載し運転負荷を大幅に軽減～(6/5)
- 米国市場向けSTIハイパフォーマンスカー二車種を発表 (6/9)
- 「アイサイト」を大幅進化、新機能「ツーリングアシスト」を搭載(6/19)

### その他

- 北海道・美深試験場に高度運転支援技術テストコースを新設(6/19)
- 自然環境保全「SUBARUの森」活動をスタート (6/20)

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

30



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。従いまして、この見通しのみに全面的に依拠されることは避けて頂きますようお願い致します。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>





<https://www.subaru.co.jp/fr/>